

J F A 8 人 制 サ ッ カ ー 競 技 規 則

ルールの基本的考え方

- 審判1人制を採用する事により、選手のフェア - プレー精神を養う
- 審判員を信頼し、判定に対して不平不満を表さない
- 審判員の決定に従いつつ、ラインアウトについてはプレーヤーから申告するフェアな姿勢を養う
- 指導者や保護者など、大人のフェア - プレー精神も養う

審判員の試合運営上の留意点(共通理解)

- 1人制であることから、よく動き、よい位置取りを心がけて説得力ある判定を目指す
- オフサイドの判定については、主審の見解で明確な場合のみを罰し、原則的に「疑わしきは罰せず」の考え方をとる
- スローインについては、ファールスローなどの違反を探すのではなく、明らかな場合のみを罰し、指導も行う
- フェア - プレーの精神、良いマナーを養う目的から判定に対してや他の人に対しての言動にも注意を払い、指導をしていく

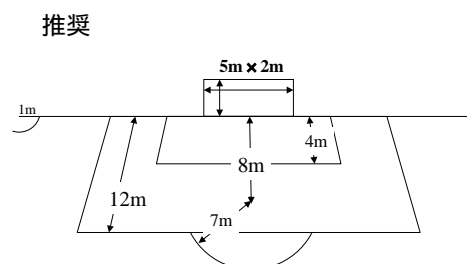
ルールについて：8人制の主旨を徹底させるためにのみ必要な変更を行う

第1条 競技のフィールド

全日本少年サッカー大会に準じる。ただし、フィールドの大きさは、通常のフィールドの半分の大きさを推奨する

マークなどの長さ、ゴールの大きさは次のとおり

- ・ペナルティーエリアの縦：12m
- ・ペナルティーマーク：8m
- ・ペナルティーアークの半径：7m
- ・ゴールエリアの縦：4m
- ・センターサークルの半径：7m
- ・ゴールの大きさ：5m × 2m



センターサークルの半径：7m

第2条 ボール

少年用の4号球

第3条 競技者の数

8人(内一人はゴールキーパー)とする
交代要員の数は競技会規定で定める。

目安は4人から6人

交代は「自由な交代」とする

第4条 競技者の用具

変更なし

第5条 主審

主審1人制とする

グリーンカード制度が導入されている大会においては、主審はグリーンカードを示すことができる

予備審判員 1 名を指名する

- ・ 記録、交替管理、3 分間計時(一時退場・退席)
- ・ 主審負傷の場合交替可

第 6 条 副審

副審を配置しない

第 7 条 試合時間

競技会規定により定める (ピリオド制も可とする)

目安は 10 分～15 分ハーフ、ハーフタイムのインターバル 5 分

延長は 3 分ハーフ (V ゴールなし)

PK 方式は 3 人ずつ

第 8 条 ~ 第 11 条 変更なし

第 12 条 反則と不正行為

退場 (R) は退場処分に加えて相手チームに PK を与える (インプレー、アウトオブプレーに係らず)

- ・ 退場の場合、該当チームは交代要員の中から競技者を補充する
- ・ 再開は PK の結果による (キックオフ、GK,CK,プレー続行)

【ベンチ役員の退席】

- ・ ベンチからのコーチングは監督のみ可とする。
- ・ ベンチにいる役員(監督、コーチ、スタッフ等)が、判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声などネガティブなコーチングを行ない、主審から一度注意を受けた後、再度何れかの役員が同様な行為をした場合は、主審の判断により、その役員を退席処分とし、それ以降のベンチからのコーチングは、不可とする。

第 13 条 フリーキック

相手競技者は 7m 以上ボールから離れる

第 14 条 ~ 第 16 条 変更なし

第 17 条 コーナーキック

ボールがインプレーになるまで相手競技者は 7m 以上離れる

<グリーンカード制度について>

グリーンカード制度を導入する大会(試合)においては、別紙『グリーンカード制度の積極的導入に関して』を参照の上、運用すること

以上